



絹川委員長「人々の生活を支える建設業の明日を担うため経験値を積んでほしい」



すべての始まりは、挨拶から。身だしなみを整え、全員で一礼。



田辺直子講師。他にも司会、ファシリテーターと当日は様々な役割をこなす。



A4用紙で机上礼を自ら作成。時間内での要約力、自己表現力が問われる。



社会人最大の課題「良い人間関係の築き方」について、班内で討論。



討論結果を模造紙にまとめ、発表。各班の考え方・意見を全員で共有。



明日からの社会人生活におけるロードマップであるキャリアマップを作成中



集合写真。京都の建設業の明日を、未来を担っていく35名の若者たち。